

2025年度 学校法人東京滋慶学園 さいたまIT・WEB専門学校

学校関係者評価委員会 議事録

日 時 2025年8月6日 (水) 15:00~17:00 (実会議時間)

会 場 さいたまIT・WEB専門学校専門学校 PBLルーム

参加者 【学校関係者評価委員】 (敬称略)

委員長 松本 明 (高等学校関係者) 欠席のため事前・事後情報共有

宮崎和子 (保護者代表)

竹内美恵子 (地域関係者)

香山 哲 (業界関係者)

小倉直樹 (企業関係者)

佐藤愛奈 (卒業生代表)

【さいたまIT・WEB専門学校事務局】

学校長 櫻田勝久 事務局長 高平敦

教務部 塚山大成・伊藤愛主 学生サービスセンター 宿野部有 [議事録]

次第 1. 配布物確認、会式の言葉

2. 学校長 挨拶

3. 委員紹介

4. 前回議事録の確認

5. 2024年度自己点検・評価内容についての説明・質疑応答

6. 意見・感想

内容 1. 配布物確認、会式の言葉 教務部長：高平 敦

はじめての卒業生を輩出し、今回から卒業生として佐藤さんが参加してくださることになりました。

2. 学校長挨拶 学校長：櫻田 勝久

開校3年目となりました。今年ははじめて卒業生を輩出することができ、佐藤さんが卒業生代表として参加してくださることになりました。地域、業界、卒業生の様々な視点で学校の成長を考えてご意見をいただきたいと思います。

3. 委員紹介

・委員のみなさまより一言あいさつ

保護者代表 宮崎 和子 様

地域代表 竹内 美恵子 様

業界代表 小倉 直樹 様

業界代表 香山 哲 様

卒業生代表 佐藤 愛奈 様

・事務局より自己紹介

教務部 塚山 大成、伊藤 愛主

学生サービスセンター 宿野部 有

4. 前回議事録の確認 事務局長：高平 敦

5. 2024年度自己点検・評価内容についての説明・質疑応答

1. 教育理念・目的・育成人材像

- ・企業連携プロジェクト報告 教務部：伊藤 愛主

目的：企業の実際の課題に取組み、授業内では得られない経験を積む

収穫：コミュニケーション能力の向上が見られた。授業でも伝え続けていることが、現場に出ることで大いに伸ばすことができた。

- ・業界代表 香山 哲 様

テーマ設定が良かったと思う。大変興味深い。発表をぜひ見たいと思う。

高平：学校で発表できる機会を設け、委員の皆さんに見ていただく機会を作りたいと思う。

2. 学校運営

- ・意見等とくになし

3. 教育活動

- ・授業アンケート報告 教務部：塚山 大成

年2回、前期・後期で実施し、講師へフィードバックを行い授業改善に努めている。

また、講師会議を年4回実施し、生成AIをどう利活用していくか等検討をすすめている。授業満足度に関しては、学年が上がるにつれ下がってしまっているので課題感を持っている。

- ・入学式在校生プロジェクト報告 教務部：伊藤 愛主

- ・ドロカツ報告 教務部：伊藤 愛主

- ・保護者代表 宮崎 和子 様

ドローンは国家資格も取れる。建築現場では求められる技術のようなので、せっかくの取組みなのでドローンをもっと就職活動に活かせる形にした方がいいのでは。

- ・業界代表 小倉 直樹 様

職員講師の研修（FD活動）、伝え方などの質向上を行うことが教育の底上げに繋がると感じる。

高平：コンストラクションスキルの勉強は業界と協同して行うよう取り組んでいる。

引き続き課題感を持ちながら研修を継続していく。

4. 教育成果

- ・情報技術科1期生 就職実績報告 教務部：塚山 大成

就職実績（在籍24名）

エンジニア：17名、デザイナー：2名、他分野：1名、進学：1名、卒業のみ：3名

課題：デザイナー希望学生への就職支援強化

- ・保護者代表 宮崎 和子 様

資格取得に関して、必須項目として学生指導にあたってはどうか。

せっかく専門学校で学ぶので履歴書に残せるものがあった方がいい。

高平：企業からは資格重視ではないという話も多く出てくるため、学校で必須としてこなかったが、資格手当がある企業もあるので、資格取得強化をすすめたい。

5. 学生支援

学校課題：留学生支援体制、卒業生への支援体制

- ・卒業生代表 佐藤 愛奈 様

在学中、自分自身も先生方から支援を受けていたので、支援内容には納得している。

- ・保護者代表 宮崎 和子 様

どのような支援があったのか？クラスの状況も教えていただきたい。

- ・卒業生代表 佐藤 愛奈 様

進路相談する機会があり、夏前に就職活動を終えられた。秋以降、就職活動が進んでいないクラスメイトに職員から声掛けしていたが、それに応えない学生もいたように感じる。

- ・保護者代表 宮崎 和子 様

就職活動をはじめて半年で内定を得られるのはすごい事だと思う。

保護者は在校生の就職先に关心があるので、保護者会開催時に就職先一覧を見せて欲しい。

- ・業界代表 香山 哲 様

この2、3年で状況が変わってきている。買い手市場になってきている。文系の学生を受け入れるので倍率がでている。コード自分で書けるというより、様々な生成AIを使いこなしてコードを書ける方が企業には刺さる。学校でそこを教育すれば面白いのではないか。アメリカではプログラマーが9万人リストラされている。高学歴な学生も就職できない。バイブルコーディングができると生産率が10倍にあがるのでAmazon等の大企業でリストラが発生している。AIはとにかく使い倒した方がいい。使えるのであれば大卒や専門卒に意味はない。これを教育現場でダイナミックに行えると面白いのではないか。

高平：講師会議でも議論があり、基本を教える授業、AIを使い倒す授業等すみ分けをして実施していきたい。

6. 学生の募集と受入れ

- ・意見等とくになし

7. 財務

- ・意見等とくになし

8. 法令遵守

- ・意見等とくになし

9. 社会貢献

- ・意見等とくになし

10. 国際交流

- ・意見等とくになし

6. 意見・感想

- ・地域代表 竹内 美恵子 様

授業アンケートでは、講師の授業姿勢に対しての不満が少ないので退学率も低いのではと感じた。地域との関りは後回しになってしまふが、災害時などは地域と

の連携が欠かせないので、ぜひ積極的にボランティア等で関わっていただきたい。

・小倉 直樹 様

課題に対しての PDCA ができてきている。上位層への支援体制は整ってきているが
中位層以下のサポート体制強化がこれから必要だと感じる。留学生に対しては
N1 取得支援が大切。

・業界代表 香山 哲 様

昨年より教育内容が充実してきている。

・卒業生代表 佐藤 愛奈 様

卒業生の視点でこれからも学校を見ていきたい。

・高等学校関係者代表 松本 明 様 ※事前・事後情報共有

アイディアソン実習やドローン活動など、さらに企業連携を進めて取り組んで
欲しい。

高校でのプログラミング教育は需要があると思う。滑川総合高校も埼玉工業
大学から講師派遣をしていただいていた。高校の先生も頼んで良いかわからな
いと思うので、積極的にアピールしても良いと思う。入学実績がある高校から
取り組んでみてはどうか？学校の認知は地道に活動して3年くらいかかるだろう。
地域の皆さんも IT の学校に期待していることが多いと思うので、ニーズを把握
して取り組みを継続して欲しい。

以上